

ぎふ農業・農村基本計画 (H23～H27)の基本方針と残された課題

- ①売れる農畜産物づくり ……特色ある品目の生産拡大、花きの振興、鮎資源の増加、食料品製造業との連携
- ②戦略的な流通・販売 ……輸出体制の整備、6次産業化商品の開発と販路開拓、地域の食資源の活用
- ③多様な担い手の育成・確保 ……新規就農者の確保と定着支援、企業の農業分野への参入促進
- ④魅力ある農村づくり ……農村地域の所得や雇用の確保、水田を維持する取組み、鳥獣被害対策の強化
- ⑤県民みんなで育む農業・農村 ……地域住民等が連携したコミュニティや生活環境の維持

社会情勢の変化と時代の潮流

- ①少子・高齢化の急速な進展
- ②経済の国際化の進展
- ③国の農業政策の大改革
- ④農村地域の集落機能の脆弱化
- ⑤日本の食文化の再評価
- ⑥「田園回帰」の胎動
- ⑦防災・減災意識の高まり

新たな基本計画 (H28～H32)

基本的方向

「未来につながる農業・農村づくり」

取組みの柱

1 多様な担い手づくり

農業の担い手を育てる

重点施策

◆就農研修拠点拡大プロジェクト

- 主要品目ごとの担い手育成プランの策定、就農研修拠点の全県的拡大
- 県内各地の就農研修の連携構築(協議会設立、統一修了証の交付等)

◆営農定着・経営安定化プロジェクト

- 施設整備の負担軽減、住宅等生活基盤の確保支援
- 就農支援金の給付、技術・経営力の向上支援(5年間の重点支援)

◆農業分野の企業誘致プロジェクト

- 農地中間管理機構と連携した「企業の農業参入モデル」の構築と普及
- 食品関連企業の誘致による農産物の需要拡大と地域雇用の場の創出

重点施策と並行して実施する主な取組み

- 「第19回全国農業担い手サミットinぎふ」の開催
- 就農相談から営農定着までの一貫した支援体制の強化
- 認定農業者、農業法人等の経営力強化
- 集落営農体制づくりの加速化
- 女性の農業経営、地域社会への参画促進
- 指導的農業者の育成、営農指導者の資質向上
- 農業大学校・国際園芸アカデミーの人材育成機能の強化

2 売れるブランドづくり

清流の恵みを活かす

◆花で彩る清流の国ぎふづくりプロジェクト

- 年間を通じた花きの普及促進、花フェスタ記念公園を核とした花きの振興
- 大型商談会の県内開催や出展支援による販路拡大

◆鮎王国ぎふ復活プロジェクト

- 魚苗センターの増設、放流事業・カワウ対策の強化
- 川に親しむ体験学習拠点「長良川あゆパーク」の整備

◆水田農業競争力強化プロジェクト

- 食味ランク「特A」の獲得、特定需要に応じた主食用米の生産拡大・販路開拓
- 飼料用米などの生産拡大と地域内流通体制の整備、集落営農の経営力強化

◆県産農畜水産物のグローバル展開

- EU・イスラム圏の新規開拓、アジア地域での品目拡大

◆農業の6次産業化の取組み拡大

- 魅力ある商品開発・販路開拓のサポート体制の整備

◆県内「食」資源の開発促進

- 飛騨・美濃伝統野菜等特色ある品目の生産拡大、伝統食等の発掘と活用、地理的表示(GI)の導入支援

重点施策と並行して実施する主な取組み

- 主要品目の生産振興
- 安全・安心な農畜水産物の生産体制の強化
- 新品種・新技術の導入
- 優良農地・農業用水の確保
- 大消費地における県産農畜水産物の販路拡大
- 地産地消の推進
- 加工・業務用など新規需要の開拓
- 卸売市場の経営体質強化

3 住みよい農村づくり

農村の暮らしを守る

◆里川(SATOKAWA)振興プロジェクト

- 「長良川システム」の保全・継承の仕組みづくりと活動支援
- 農林水産物・加工品や観光資源の「長良川ブランド」づくり
- 棚田地域や清流流域を次代に継承する組織づくり

◆農村ビジネス創出プロジェクト

- グリーン・ツーリズムや地域の6次産業化など農林業と商工・観光業等を融合した「中山間地域就業モデル」の構築と普及(移住・定住の受け皿づくり)

◆米づくりを中心とした農村の維持

- 飼料用米などを組み合わせた中山間地域等に適した水田農業の展開と耕作放棄地解消対策の強化
- 地域を守る集落営農の体制づくり

◆鳥獣被害対策の加速化

- 対策未実施集落の集中的解消、防護と捕獲の総合対策の拡大、ジビエの需要拡大

◆農業・農村の強靱化

- ため池・農道橋等の耐震化、排水機場等の機能強化、用水路等の長寿命化の推進

重点施策と並行して実施する主な取組み

- 高齢者等生きがい農業の推進
- 生活環境の整備推進
- 地域資源の循環利用と自然エネルギーの活用推進
- 農村環境を守るための地域住民等との連携
- 農村で社会貢献活動する企業等の育成